

infocom REPORT

2023年3月期 第2四半期

2022年4月1日 → 2022年9月30日

CEOメッセージ

電子コミック事業が成長回復し増収

株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2023年3月期第2四半期決算は、売上高330億円(前年同四半期比1.8%増)、営業利益37億円(同25.8%減)、経常利益37億円(同25.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は17億円(同50.4%減)となりました。

なお、連結子会社の㈱メディカルクリエイトの前役員による不祥事の影響により、のれんの減損損失6.3億円を特別損失に計上しています。当社はコンプライアンスを規範とした経営を行っており、本件は重要な課題と認識しています。

主力事業の概況

電子コミック市場は、ここ数年利用者を集めていた海賊版の大規模サイトが相次いで閉鎖されたため、その影響が縮小しています。一方で認知度の向上や韓国発のカラー・縦読み漫画のヒットにより市場は活況を呈しており、今後の更なる拡大が期待されています。

このような中、当社はコンテンツの拡充とマーケティングを強化したことにより、有料会員を順調に増やすとともに、既存会員の利用率も向上させました。これにより四半期別の売上高は、

巣ごもり特需のあった2020年度第2四半期を超えて過去最高を更新し、第2四半期の累計売上高も219億円と前年同期を上回っています。

ヘルスケア事業では、コロナ第7波やハードウェア機器の納入遅延により案件の期ズレが発生しており減収となりましたが、企業向けが堅調に推移しておりITサービス・セグメント全体の売上高は111億円の前年並みとなりました。

下期に向けて

電子コミックは、上期で成果を上げたマーケティング施策を継続し、下期も広告効果を見ながら積極的な広告

投下を実施します。これらの取り組みの他、12月には米国での電子コミック配信サービスを開始する予定です。また8月に資本業務提携したツインエンジン社とは、電子コミックとアニメの共同開発プロジェクトを推進して、新たな事業領域への展開を図ります。

ヘルスケア事業は、更なる期ズレのリスクが残る中、病院や介護事業における働き方改革推進を受けて就業管理システム[CWS]が引き続き好調です。アジアでも各国の入国制限が緩和されたことにより、現地HISベンダーとの協業が進み海外展開も本格化していきます。

この結果、通期業績予想を売上高710億円(前回予想比+10億)、営業利益105億円(変更なし)、当期純利益61億円(前回予想比△9億)に修正しました。

今後も成長を追求し企業価値向上の実現に鋭意努力していきますので、株主の皆様におかれましては今後とも変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。



代表取締役社長 CEO 竹原 教博

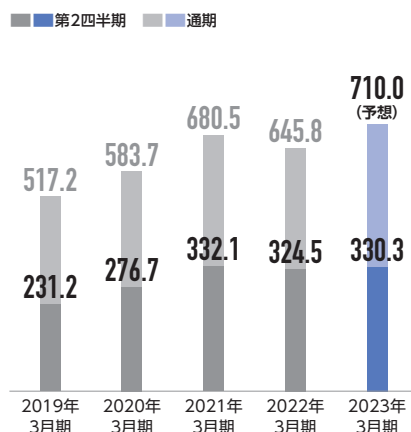
POINT 1 電子コミック事業はマーケティング強化の取り組みが奏功し、四半期売上として過去最高を更新

2 ITサービスは病院向けではコロナ第7波や半導体不足の影響を受けたものの、全体としては堅調に推移

3 電子コミックの業績好調を反映し通期見通しを上方修正

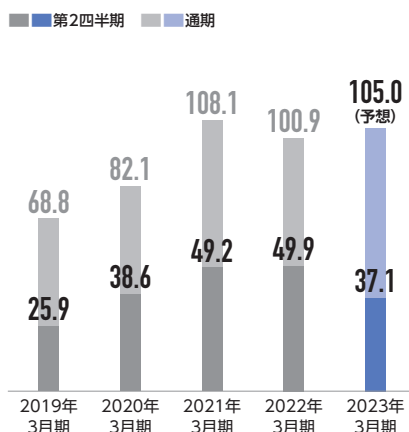
売上高

(億円)



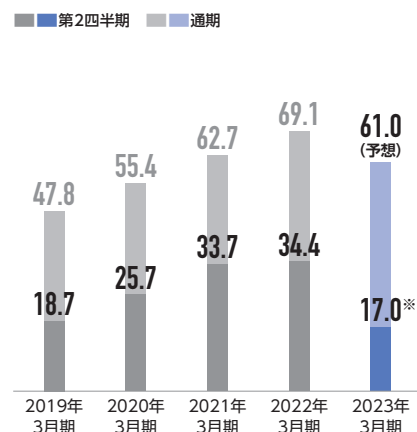
営業利益

(億円)



親会社株主に帰属する当期純利益

(億円)



*連結子会社における今後の事業影響を考慮し、特別損失を計上

セグメント情報

ネットビジネス・セグメント

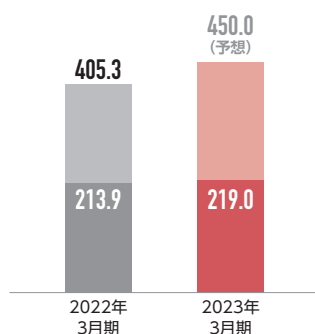
売上高

219.0億円

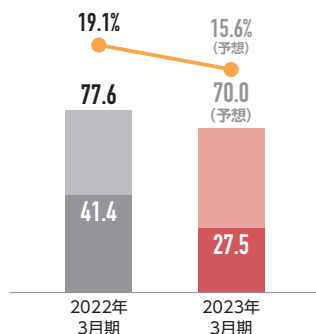
営業利益

27.5億円
営業利益率 12.6%

■ 第2四半期 ■ 通期 (億円)



■ 第2四半期 ■ 通期 ● 営業利益率 (億円)

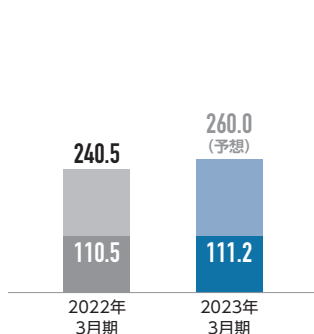


ITサービス・セグメント

売上高

111.2億円
ヘルスケア 43.0億円

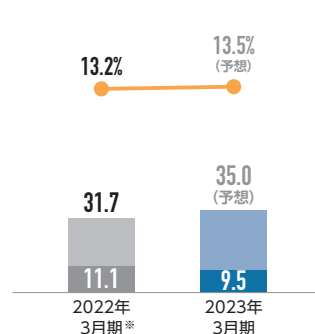
■ 第2四半期 ■ 通期 (億円)



営業利益

9.5億円
営業利益率 8.6%

■ 第2四半期 ■ 通期 ● 営業利益率 (億円)



*本社移転コスト△8.7を除く

2022年6月14日に第40回定時株主総会を開催しました



昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症予防のため株主様にはご来場を極力お控えいただき、書面やインターネットでの議決権行使をお願いしました。また、ご自宅からでも総会の模様をご覧いただけるよう、株主様限定でライブ配信を行い、感染症対策をしつつ、事業の進捗をご理解いただく取り組みを進めました。

会場では、検温などの感染症対策、間隔を空けた座席

の配置、役員9名のリモート出席など、密集状態を避けた運営に努めました。株主の皆様には、株主総会の安全で円滑な運営にご理解とご協力をいただきましたことに改めて御礼申し上げます。

詳細はこちらからご確認ください。

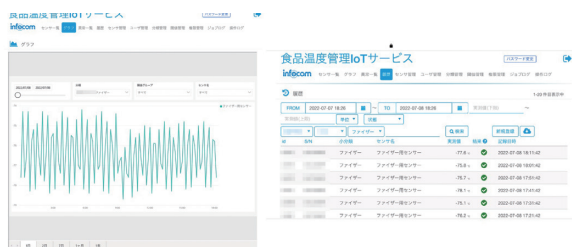
<https://www.infocom.co.jp/ja/ir/stock/meeting.html>



トピックス

新型コロナワクチン保管に食品温度管理IoTサービスを活用

大阪府藤井寺市の新型コロナワクチン保管に「食品温度管理IoTサービス」が導入されました。同ワクチンは「マイナス90度～マイナス60度」の超低温での保管が必要で、当社が手掛けたマイナス60度以下での保管管理を行う超低温冷凍庫「マグロストックカー」での活用事例がきっかけとなり、今回の導入につながりました。



市の担当者からは「パソコンやスマートデバイスですぐに温度を確認でき、何度も冷凍庫へ温度の確認に行く必要がなくなりました。業務時間外の異変も通知してくれるので、素早い対応ができる体制を整えることができました」と評価いただきました。

電子コミックのAmütusがアニメ制作会社と資本業務提携

電子コミック配信サービスを提供している株式会社Amütusは、アニメーション制作の企画・制作・販売等を行う株式会社ツインエンジンと資本業務提携をしました。今後はコミックとアニメの共同開発プロジェクトを推進するなど、事業領域の拡大を目指します。

amütus



ツインエンジン
Creative × Business × Contents

社員がいきいきと働くための職場づくり

「社員がリアルに集うための空間」を実現する新本社オフィス

当社では以前より生産性や業務効率の観点から従業員が場所や時間にとらわれず働くことができるよう、オフィスと制度の両面で働き方改革を進めていました。その集大成として2021年11月、東京ミッドタウン・イーストタワーに本社を移転しました。新オフィスでは、部署を超えたコミュニケーションを促すため、オフィススペースをワンフロアに集約し、グループで作業できる空間や社員同士が交流できるオープンスペースを設けました。風通しの良い空間が従業員の新しい働き方を支援しています。

WEBブース、集中エリア



WEBブースは個室ブースを全10か所設置

在宅勤務制度の導入で増加したWEB会議に対応するため様々なスペースを用意しています。集中スペースは話しかけることや通話を禁止するなど、従業員は業務内容に合わせて使用しています。

コンシェルジュ



撮影時は秋の装飾。季節によって変化します

複合機や文具等は集約し、共有管理に。オフィスの総合案内業務を担うコンシェルジュが備品の補充や郵便物の管理等を行っています。

困ったらコンシェルジュへ！
というくらいに頼りにしています。
(40代、女性)

WEBブースは周りの声を気にせず会議に集中でき、重宝しています。
(30代、男性)



WEBブース

執務エリア

執務エリア

コンシェルジュ

大通り

個人ロッカー

WEBブース

カフェ

会議室エリア



出社時はここでコーヒーを飲むのがルーティーンです。
(50代、男性)



息抜き用にお菓子を置いたり、自分用にカスタマイズしています。
(20代、女性)

個人ロッカー



オフィスの各地に従業員の個人ロッカーを配置。顔写真と自己紹介を交えた札を飾る人も。

従業員一人ひとりに個人ロッカーが割り当てられています。個人の荷物の収納だけでなく、郵便物はロッカーに配布するなど、リモートにも対応した仕組みになっています。

カフェ

従業員の憩いの場。六本木の景色を眺めながら、気軽に美味しいコーヒーを楽しめます。来客対応や社内のミーティングでも利用されている、憩いの場所です。



窓からは六本木ヒルズも一望できる

女性が活躍する職場づくり

2022年4月から「女性活躍推進タスクフォース」が始動しました。12名の女性社員に加え1名の女性社外取締役がオブザーバーとして参加し、女性の働き方に焦点を当てた施策を企画・実施します。

当社ではすでに出産や育児に関する様々な制度を設けています。福利厚生面の面はすでに積極的に取り組まれている中、女性活躍推進タスクフォースが解決すべき課題とはなにか、リーダーの豊山恵子さんにお話を伺いました。

在宅勤務制度 オフィスに通勤せずとも、自宅でも勤務できる制度

育児支援制度 出産後の育児休暇制度のほか、時間短縮労働が選択できる制度

パパママ公休日 家族の誕生日や記念日に有給休暇取得を奨励

くるみん認定 厚生労働省 東京労働局より子育てサポートに積極的に取り組む企業として認定されています



自分にもできる!というきっかけづくりを

活動を通じて気づいたことは、女性自身も男性優位の今までの考え方に囚われていたということ。そのきっかけとなったのは社外取締役であり同活動のオブザーバーでもある栗井佐知子氏の講話でした。今までおぼろげな認識だった管理職の担う役割とは何か、そして自分でチームを動かして大きなことを成し遂げることの面白さについて体験を交えてお話しいただき、「自分にもできるだろうか」と関心を寄せるメンバーが現れました。

「他の女性管理職の方々からもお話を伺い、皆の視野が広がりました。女性社員は特にキャリアアップの前例が少なく、自身の将来像を描きにくいのかもかもしれません。CEOからも小さな成功体験を積み重ねてほしいと背中を押されていますので、コツコツと意識改革を進めていきたいと思っています」

女性活躍からダイバーシティへ

今後は“女性活躍”から“ダイバーシティ”へ変わっていきだろうと話す豊山さん。「今回は女性に焦点を当てましたが、育児だけでなく介護も問題になってくるでしょう。ライフフェーズによって働き方が変わるのは男性も女性も同じ。お互いを当たり前で気遣い支えあえる、そうすることでみんなが良いパフォーマンスを発揮できる、そんな会社になっていけたらと思います」



女性社員比率
22.4%
(2022年3月時点)



女性新卒採用比率
47.8%
(2022年3月時点)



働くママ比率
66.6%
(2022年3月時点)



育児休業復職率
100.0%
(2022年3月時点)

国内最大級の電子書籍サイト

めちゃコミック



<https://mechacomik.jp/>

めちゃコミック 検索



©めちゃ犬

月間利用者数
2800万人突破

無料話数
80,000話以上

注)一部コンテンツは有料です。パケット通信料はお客様のご負担となります。
一部ご利用いただけない機種がございます。

会社概要

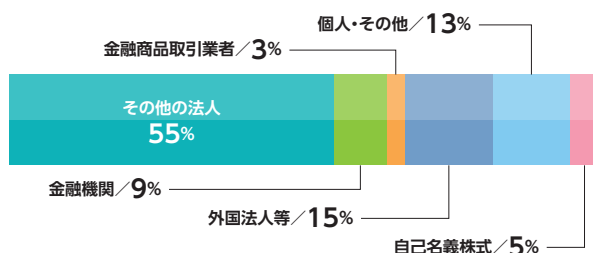
商号	インフォコム株式会社 (INFOCOM CORPORATION)
代表者	代表取締役社長 CEO 竹原 教博
設立	1983年2月
本社所在地	東京都港区赤坂九丁目7番2号 東京ミッドタウン・イースト10階
決算期	3月末日
資本金	15億90百万円
社員数	639名(単体) 1,290名(連結)
主要事業所	大阪、福岡
連結子会社	国内9社、海外3社

役員

代表取締役社長	竹原 教博
取締役	黒田 淳
取締役	久保井 基隆
取締役	青柳 晃夫
取締役	社外 独立 津田 和彦
取締役	社外 独立 藤田 一彦
取締役	社外 独立 粟井 佐知子
取締役	社外 独立 藤田 明久
常勤監査役	社外 仲田 和正
常勤監査役	櫻井 誠
監査役	中石 昭夫
監査役	社外 独立 森川 紀代

※ 社外 会社法に定める社外取締役・社外監査役
独立 東京証券取引所の有価証券上場規程に定める独立役員

株式の所有者別状況



株式情報

上場市場(銘柄コード)	東京証券取引所 プライム市場(4348)
発行可能株式総数	230,400,000株
発行済株式総数	57,600,000株
株主数	10,027名
事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	期末配当金:3月末日 中間配当金:9月末日
売買単位	100株
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
株主名簿管理人 連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

公告の方法

電子公告として当社ホームページに掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。公告掲載URL:<https://www.infocom.co.jp/>

大株主の状況

株主名	持株比率(%)
帝人株式会社	55.13
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	5.67
インフォコム株式会社	4.88
インフォコムグループ従業員持株会	2.03
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1.97
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	1.59
野村證券株式会社自己振替口	1.52
JP JPMSE LUX RE MERRILL LYNCH INTERNATIONAL JP EQ CO 2	1.10
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140040	0.95
株式会社かんぽ生命保険	0.87

お問い合わせ インフォコム株式会社 広報・IR室
〒107-0052 東京都港区赤坂九丁目7番2号 東京ミッドタウン・イースト10階
TEL: 03-6866-3000(代) FAX: 03-6866-3900 E-mail: pr@infocom.co.jp

